

## 【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年5月

### ◇第94回活動:2017年5月9日(火) 午後1時から ヌエック207室

美松会27主催「第5回美術展」の会期が決定した。今年の運営担当:B班では、5月1日(月)午前9時に佐久間班長さんと関矢さんが市立図書館を訪れて、11月の開催日程抽選会に臨まれた。

くじ運が良くて11月第4週の21日(火)~26日(日)を抑えた。改めて出展作品の募集要項などをB班から通知がある。

今日の活動は、水張りしたF8ウォーターフォード水彩紙にデッサンしてきた、課題写真『昭和記念公園を歩く』の右側に見える淡い林を描いていきます。

1. 右側の淡い林を描いていく。

① 葉群の中に見える木の幹や枝に、細いマスキング小筆でマスキングする。

幹や枝の日が当たって白っぽく見えるところに細くマスキングしていく。

② マスキング小筆先端で、葉が生い茂っているように、生えている葉っぱの向きを表現するように点々とマスキングしていく。

木々先端の刃先等、課題写真を見ながら伸びているように葉っぱを点々とマスキングしていく。

③ 中央部に見える橋の欄干、日が当たっている欄干手すりの白いところをGペンで線を引くようにマスキングしていく。

2. 葉っぱをドライブラシ技法で描いていく。

① 葉っぱの色をつくっておく。

鮮緑色をパレットに絞り、水を加えて薄めに溶いておく。

別に明るい黄色、オレンジ色を絞り、薄く緑に混ぜたりして黄緑色やオレンジがかった緑色をつくっておく。

② 黄色っぽい緑をドライブラシ用筆に取り、木々の先端から内側にドライブラシ技法で擦るように塗っていく。

③ 課題写真を見ながら、オレンジ系に見える部分、黄色っぽい部分、緑っぽい部分と掻き分けるように、それぞれの色でドライブラシ技法で塗っていく。

3. 葉っぱを塗った後にドライヤーで乾かしてから、葉っぱをダブルマスキングしていく。

4. 前項1. で日が当たって白く見える幹や枝に、バイオレット+オレンジの混色に焦げ茶色を混ぜてつくった色でライナー(細かい小筆)にとり、マスキングした木や枝の下側に描いていく。

余りはっきりと幹や枝を描いていくと、枝や幹が目立ち過ぎて淡い林感が無くなる恐れがあるので、木の葉に隠れているように木の枝や幹を所々描いていこう。

5. 明るい黄色に暗青色を混ぜて、きれいな緑色をつくる。

薄めに水溶きして、きれいな緑色を小筆にとり、課題写真を見ながらドライブラシ技法で見えている白っぽい部分や、影になっている部分に、成るべく淡い目に塗っていく。

6. ドライヤーで十分に乾かしてから、林の左上部に見えるモヤッと見える奥の林を塗っておく。

① 課題写真を見て位置を確認し、その部分に水を塗る。

② 前項4. でつくったバイオレット+オレンジの混色を薄めにおいていく。直ぐに暗青色を混ぜた影色も薄くおいて滲ませしていく。塗っていく形は木々の形にしていく。

※ドライヤーで色をおいたところを乾かしてから、マスキングインクをきれいに剥がし取っていく。

今日の活動はここまで出終了となった。

7. 次回(5月21日(日))の活動予定

次回は左側の濃い目の林を描いていきます。

次回までに自宅で描いてくるよう宿題が出された。

◎ 左上部端に見える2本の黄色い葉を着けた枝、課題写真をよく見て色をつくり、木の枝と黄色っぽい葉っぱを描く。

### ◇第95回活動:2017年5月21日(月) 午後1時から ヌエック207室

昨日20日(土)に開催された「第1回理事会」での討議内容の一部を報告した。野々村さん逝去に伴う校友会HPの継続の為、総務担当の大木さんが自ら勉強してPDF現行のアップで運用を始められた。

HP活用による広報活動に代わる「川越校友会で取り入れている『掲示板』方式』について、その導入を検討している。

今日の活動は、左側のメイン木々群から正面に奥まっていって木々群を描いていきます。

1. 正面奥の木々群と重なるところにマスキングを施しておく。

① 正面奥の木々群を描く為、右手前の木々群先端部に点々とマスキングを施していく。

② 橋の欄干に色を塗っていく。

欄干の色は課題写真を見ながら、暗青色+焦げ茶色の影色にオレンジを混ぜた暗い赤錆色を薄めに溶き、ライナー等の小筆で欄干を描いていく。

③ ドライヤーで乾かしてから、描いた欄干を描くようにマスキングしていく。

2. 左側から正面にかけての木々群、重なり合っている境目や夫々の木々の先端部などに葉の向きを意識しながら、チョンチョンとマスキングしていく。

あまり細かに密集しないように留意する。

3. 木々の色をドライブラシ技法で薄く塗っていく。

① 様々なグリーンの色をつくる。

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| ・きれいなグリーン  | 少し濃い青色+イエロー     |
| ・やや汚れたグリーン | 少し濃い緑色に影色などを加える |
| ・杉の木の色     | 暗青色+暗緑色         |
| ・明るめのグリーン  | 鮮青色+暗緑色         |

※夫々の色を溶いた順番に紙に塗り、溶いたパレットの位置を確認しておく。

② 課題写真を見ながら、夫々の木々に色をおいていく。

・きれいなグリーンに黄色を多めに溶いて黄色に近いグリーン色に溶き、

正面のイチョウ、左側下部の柵にかかる枝木、杉の木下部に見える木々などに、ドライブラシ技法で枝向きに合わせて筆を動かしていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

・杉の木

つくった杉の木の色を小筆に取り、ドライブラシ技法で枝向きに合わせて筆を動かしていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

・左側中央に見える茶色っぽい木々

やや汚れたグリーン色にオレンジなどを混ぜて茶色っぽい色をつくり、薄めに溶いてドライブラシ技法で枝向きに合わせて筆を動かしていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

同じ色に少しバンダイキブラウンを混ぜて暗い色にし、左側上部角の枯れたような蔓が絡まっている木々にドライブラシ技法で描いていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

・左側端の木々

やや汚れたグリーン色や杉の木の色、明るめのグリーンなど、薄めに溶いてドライブラシ技法で枝向きに合わせて筆を動かしていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

・正面奥の木々

黄色見の強いグリーン、汚れたグリーン、杉の木色などをもう一段薄めに溶き、課題写真を見ながら色を変えながら、夫々の木々をドライブラシ技法で枝向きに合わせて筆を動かしていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

4. 夫々の木々の先端部分や、他の木々との境目に、夫々の枝降りや葉っぱの向きを考えながら、葉の形にチョンチョンとマスキング小筆先端でマスキングを施こしていく。

5. 見えている幹や枝ぶりを描いていく。

木の色(暗青色に少し多目の焦げ茶色を混色)を小筆に取り、スーッと描いていく。

木の幹や枝をスーッと描いてから、葉っぱに隠れているところはティッシュでトントンと押し付けて拭き取って表現する。

※今日の活動はここまでで終了した。

6. 次回(6月5日(火))の活動予定

次会は左側から正面に走る石堤や金網柵、正面の橋、河原に茂る菜の花や雑草、右側の枕木堤などを描いて仕上げていくので、今日の活動で薄めに描いてきた上部正面の木々群を、各自仕上げてくるとの宿題が出された。

① 各木々群の境目に見える影部分の濃いところに、3項①でつくった各色を濃くし、点々と濃いところにおいていく。

② 濃い目につくった夫々のグリーン色、各木々群の色に合わせて濃い目にドライブラシ技法で塗っていく。水筆で直ぐにぼかしていきます。